



認知症を知る

～認知症の心配があるときは～

認知症への対処は、より早期のほうが効果的です。しかし、認知症が初期のうちには正しい診断ができない場合もあります。早期に発見し、適切な治療を行うために、できれば専門の医療機関の受診がのぞまれます。右下のチェック表を参考に「認知症では？」と思われるときは、医療機関などに相談しましょう。

どんなところに相談すればいいの？

- 認知症の専門医がいる医療機関
ものわすれ外来、精神科、心療内科、認知症疾患医療センターなど（詳細は多久市地域包括支援センター☎75-6033へおたずねください）
- 多久市地域包括支援センター（市役所福祉課内）☎75-6033
- 佐賀県認知症コールセンター
受付日：月・水・金の10：00～15：00
（年末年始・祝日を除く）
☎0952-37-8545



最近こんなことはありませんか？

- 何度も同じことを言ったり、聞いたりする
- テレビのリモコンを他の物と間違える
- 今まで段取りよくできていた作業（仕事）に時間がかかる
- 日付や曜日、季節、時間の流れが分からない
- 自分のいる場所がどこか分からなくなった
- 家族との会話についてこれない
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- だらしくなった
- 病院からもらった薬の管理ができなくなった
- 外に出たがらない
- ささいなことで怒りっぽくなった

受診時に伝えたいこと

- ご本人や家族が感じている、不安や今までと違う異変をいつ頃から気づいたか。気づききっかけがあればそれを伝える。
- 以前と比べて変わったこと、できなくなったことはどんなことか。
- 日常生活で困っていることはなにか。
- 以前かかった病気や現在治療中の病気について、現在服用している薬はあるか。など



本人が受診を嫌がられるときは？

本人が病気だという意識（病識）がなく、受診を勧めても、「なぜ？」と拒否されることがあります。

本人の意思を無視して病院につれて行くと、家族や医療機関との信頼関係が築きにくくなります。

まず、家族だけで医療機関などに相談するなど、本人の受診につながるようなアドバイスや日ごろの対応方法について聞くなども一つの方法です。

また、本人が信頼しているかかりつけ医から受診の必要性を伝えてもらうことや、家族の気持ちも交えて勧めてみるのも有効です。

1・2月の主な行事

げんきアップさー来る
もりもりコース（毎週木曜日）

日時 1月7日・14日・21日・28日

【初心者】 9時30分～10時30分

【経験者】 10時45分～11時45分

場所 スポーツぴあ（ゆめひろば）

げんきアップさー来る
きんぎょコース（毎週金曜日）

日時 1月8日・15日・22日

2月5日・12日・19日・26日

【初心者】 13時30分～14時30分

【経験者】 14時45分～15時45分

場所 スポーツぴあ（ゆめひろば）